



地域の発展を願つて



先日、北海道通信社から取材を受けた。インタビューの中で、教職の道へ進んだ動機を聞かれた。久しく忘れていた感覚である。私が教職に就いたのは昭和五十三年、赴任地は宗谷管内の礼文島である。最北限の地の自然環境はとても厳しいものであったが、島民のしめるような優しさと子ども達の純朴さに支えられたことが、今の自分の教育者としての原点だと感じている。もう一つ忘れられないことがある。赴任してまもなくの頃、礼文島の夕陽の先輩の方々が歓迎会を催してくれた。自分が母校の同窓会のことを初めて意識した出来事である。遠く離れた地で不安な思いを抱いていた自分にとって、同窓会の先輩の励ましは大きな支えであつた。時や場所は違つても全道いや全国各地で私と同じような思いを抱いた会員はたくさんいたのではと感じる。もうすぐ一世紀を迎えるとする母校の歴史の中でも先輩諸氏が築いてきた功績は一言で語り尽くせない。醸成された絆の深まりもまた、しかりである。昨年の四月に函館市支部長の任を受け、一年半が過ぎようとしている。本部をはじめ様々な方々との関わりを通して同胞を大切にし、母校を愛する強い思いを肌で感じてきた。才無く、力量欠く私が本部のお膝元の支部として責任の重い任を曲がりなりにも進めてこれたのは諸先輩はじめ多くの方々の夕陽を思う気持ちからである。支えていた皆様に心から感謝申し上げたい。

さて、函館市支部では、碇幸信前支部長の時代より『地域貢献』と『民間同窓生への組織拡大』の二つを大きな目標に活動している。公共施設の利便性の



夕陽会函館市支部 支部長 青木昌史

(昭和五十三年卒)

地域と共に母校と共に

向上に貢献することを目的とし、平成二十一年には箱館奉行所の開設にあたり、二台の車椅子の寄贈が行われた。昨年度も箱館奉行所へフロアライト五台を寄贈した。奉行所では、夕暮れ時や冬場に人が差し込まない箇所があり、その問題の解決の一つと言うことで高さ一メートル二十七センチあるフロアライトを五台寄贈した。フロアライトは和風のデザインとなつており強化和紙を使用し、奉行所にふさわしい上品な明かりを演出している。地域貢献の取組はスタートしたばかりであるが、方向性については皆さんと相談しながら今後も進めて参りたい。また、『組織拡大』については民間同窓生への働きかけを進めてきた。母校のキヤリアセンターと連携し、各職場を訪問し、同窓会への参加を呼びかけた。厳しい就職状況の中、後輩達が地元に残り、就職している。昨年度は平成二十三年度卒の教職以外の同窓生が八名も懇親会に参加してくれた。今回発行の広報誌にも今年卒業した地元に勤めている教職以外の新人が寄稿してくれている。今年も多くの教職以外の方々に懇親会への参加を呼びかけていきたい。昨年から今年にかけて母校は新学部構想が現実味を帯び、更に大きく変わろうとしている。我が同窓会も母校の進むべき道と一緒になりかかるためオーラムや署名活動など様々な活動を行ってきた。函館市支部としても先輩諸氏が築きあげてきた伝統をしっかりと守り育していくと同時に今後も母校の未来のために微力ではあるが、本部と連携しながら様々な活動に全力で取り組んでいきたい。



函館市立
白尻中學校長
風間和夫

地域の教育力を大切にしながら

白所中学校は南茅部地区の北に位置しています。ご存じのとおり昨年秋、校区内に函館市縄文文化交流センターがオープンし、北海道唯一の国宝である中空土偶が展示されています。五月の連休や夏休みは随分賑わいを見せていました。

南茅部地区は六月下旬から本格的な昆布漁に入ります。本校の生徒はほとんどが家業の担い手として、朝早くから昆布漁の手伝いをした後に登校します。本当はねむいのでしようが、眠たいのをがまんして、しつかり授業に向かっています。この地域産業である昆布漁を当たり前

本校の重点教育目標「心豊かに生き生きと活動する生徒の育成」の達成のため、教職員一丸となり、日々の教育活動に邁進して参ります。そのために本校職員や生徒とのコミュニケーションを意識的に図り、思いや願いを伝えていきます。今後とも夕陽会の皆様のご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



函館市立
恵山中学校教頭
佐藤 雅博
(昭和六十二年卒)

恵山中で目指すこと

函館市立恵山中学校は、背後には靈峰である「恵山」がそびえ、眼下には遠く下北半島をながめる自然環境に恵まれた温暖で風光明媚な景勝地です。五月の末には、恵山麓一帯に紅いつづじの花が咲きほこります。このような素晴らしい環境で、楽しく毎日を過ごしております。

生徒は明るく素直で、朝の玄関での元気な挨拶に「今日も一日頑張ろう」という気持ちになります。恵山地区は、昆布を中心とした漁業に従事している家庭が

新たな気持ちで

「知・徳・体の調和のとれた子ども」の確かな育ちで保護者・地域の思いに応える信頼される学校づくりであることを改めて強く受けとめ、日々、努力しております。

私は、教育実習を附属小学校で行わせていただきました。附属小学校で目の当たりにした、一時間一時間ごとに見ることのできた子どもの変容と無限の可能性そして何よりも、その時にご指導いただいた諸先生方への憧れで教職への道を決意しました。その後、多くの夕陽の皆様に支えられ、ご指導いただきましたことに心より感謝いたします。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。



函館市立
鱈川小学校教頭

四月から函館市立鱒川小中学校へ赴任いたしました。「教頭先生」と呼ばれる責任の重さを感じつつ、多くの方々に支えられています。感謝する日々を送っています。

夕陽会の皆様には、これまでたくさん
の勇気をいたしました。先輩から贈ら
れた言葉「明るく、元気に、はつらつと」
は、今、本当に自分を奮い立たしてくれ
ています。今後とも、皆様のご指導ご支
援をよろしくお願ひいたします。

多く 昆布の時期には、生徒も朝早くから昆布の仕事を手伝つてから登校し、授業や部活動に励んでいます。そんな生徒の姿に自分も負けてはいられない、勇気づけられます。

教頭としてはまだまだですが、校長先生や周りの先生方に支えていただきて、何とか一学期を終えることができました。「心豊かに自らを磨き高める生徒の育成」が本校の重点目標です。集会活動などの表現活動や日常の清掃活動で「自己をみつめる」ことを重視しています。生徒が自己を高め、生きてはたらく力を身に付けられるように、そして、教職員も生徒も「明日も学校に行きたい」と思える学校を維持していくよう努めます。さらに率先して、地域、PTA、関係機関と連携しながら職責を果たしていくこうと思ひます。

今後とも、夕陽会の皆様のご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

私はこの春、晴れて北海道教育大学函館校を卒業し、函館の一ホテルマンとして社会人生活をスタートさせました。私は中学校の修学旅行で函館に訪れて以来、この地が大好きです。しかし大学の四年間では物足りず、できれば一生函館で過ごしたいという想いから、函館での就職を決意し、現在に至ります。

ホテルマンになつて早四ヶ月、本当にあつという間でした。フロントのチェックインはもちろん、電話応対、営業、宴会のセツ、更には当社ならではのビアガーデンのスタッフなど、覚えることがたくさんありました。入社して間もなく、実際にお客様との接客についたため、失敗ばかり重ねました。ただ、先輩方のフォロー、や、笑つて許して下さる常連のお客様などに助けられ、毎日元気にやっています。また、最近は自分は本当に接しています。

日々の業務に追われ、ついつい自分のことをばかり考えてしまう私ですが、常に自分が好きなのかな、と自觉できました。就職が決まったときに「お世話になつた分、これからは職員として還元していく」と思つてました。このことは、教育大に受けた恩を少しでも返すために戸惑うことも多く、余裕もあまりありませんが、スタッフをつけ、人と人とのつながりを大切にしながら、函館の活性を考え、実行していきます。



有限会社 ホテルテトラ
小西 貴裕
(平成二十四年卒)



北海道教育大学函館校
財務グループ
野中 啓介
(平成二十四年卒)



函館市立
鍛神小学校
打越 亮介
(平成二十二年卒)



函館市立
東小学校
齊藤 希
(平成二十二年卒)

新会員になつて

大好きな函館でのスタート

大学五年生ではなく社会人一年目として

何事も全力で

新たなる決意

私はこの春、晴れて北海道教育大学函館校を卒業し、四月からは職員として再び函館校でお世話になることになつてから早くも半年が過ぎようとしています。現在は財務グループで学校の一般管理費での契約発注、支払い依頼業務などを行つています。いまだに学生時代にも所属していた硬式野球部にも頻繁に顔を出させていただきたり、職員野球チームに参加させていただいたらなど非常に充実した毎日を過ごさせていただいています。

学生時代にお世話になつた学校で働くと、そのはどこか変な感じで、はじめは社会人一年生ではなく、大学五年生としての心構えでやつていたような気がします。そんな私に社会人としての心構えを教えてくれたのも、教育大学でした。学生を卒業してからも大学に教えてもらえたことにとても感謝しています。

就職が決まつたときに「お世話になつた分、これからは職員として還元していく」と思つてました。このことは、教育大に受けた恩を少しでも返すために戸惑うこともあります。また、最近は自分は本当に接しています。

日々の業務に追われ、ついつい自分のことをばかり考えてしまう私ですが、常に素直な気持ちで、更にお客様の目線といふものを大切にし、今後も一流のホテルマンになれる様励んでいきます。私は大好きなこの函館のファンをもっと増やすために、仕事以外でも様々な活動もやっていきたいです。まだ社会人生活に戸惑うこと多く、余裕もあまりありませんが、スタッフをつけ、人と人とのつながりを大切にしながら、函館の活性を考え、実行していきます。

まだまだ至らない点もたくさんあります。教育大に受けた恩を少しでも返していけるように、日々の業務やプライベートなどで自分を積極的に高めて行こうと思います。

「悩むこと」は、自分自身が成長しようととしている証であると思っております。まだまだ未熟者ではあります。全力で悩み、全力で成長していきたいと思いまので、これからもご指導、ご鞭撻の程よろしくお願ひ致します。

私はこの春、晴れて北海道教育大学函館校を卒業し、二年間の期限付き教諭を経て、今年度より正採用教諭として函館市立鍛神小学校で勤務させていただいております。期限付き教諭の二年間お世話をついていました。元気いっぱいの五年生十六名の担任をし、充実した毎日を過ごしています。

今まで五年生の学級を受け持つた経験はあります。しかし、当然ですが子どもたちは一人ひとりに個性があり、これまでの指導を通すのではうまくいきません。児童の「困り感」と「行動」の解釈を適切に行い、個々の教育的ニーズに応じた指導を行うため、日々研鑽を積んでおります。児童の行動一つ一つに注意し、その子にとって効果的な支援を考えることに力を入れて、実践しております。しかしながら、学級経営や学習指導、生徒指導等の様々な場面で頭を悩ますことが多い、改めて教師という仕事の難しさや自分自身の未熟さを痛感しました。悩みが尽きない毎日ですが、多くの先生方に様々なアドバイスを頂き、感謝の気持ちが絶えることがありません。そして何よりも、自分の力と経験不足も痛感しました。そんなとき、たくさんの先生方から助言や励ましの言葉を頂き、課題を乗り越えることができました。

そして何より、子どもたちが「授業のおかげで勉強わかつたよ」と笑顔で話しかけてくる姿を見て、教師として子どもたちのために日々努力していくと奮起することができました。子どもたちの成長を間近で見られること、その手助けをできることがとても嬉しく、教師となつてよかつたと心から思つております。

教員生活の中で悩みは尽きませんが、自分にできることを全力で取り組む決意です。夕陽会の諸先輩方の皆様には、ご指導やご支援を頂く場面も多々あるかと思いますが、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

五、広報活動の充実を図り、地域に貢献できる組織を目指す。

四、会員の動向を的確にとらえ、組織強化ならびに会計の効率化を図る。

三、会員の慶弔に対し、適切に対処する。

二、幹事と若手会員を核に、「創造し行動する夕陽会」の浸透に努める。

一、本部との連携を深め、会員親睦の充実に努める。

母校開学の精神「土地墾闢・人民蓄殖」の精神を確かに、支部会員の資質向上と親睦の和を深めることを目指した会務の運営に努める。

あわせて夕陽会の充実発展に寄与する。

平成24年度 支部運営方針

○役員 一、支部役員 二、支部役員 三、支部役員・業務内容

中学校長会長	小学校長会長	前支部長	元支部長	元支部長	元支部長	元支部長	元支部長	元支部長	元支部長	元支部長	監査	副幹事長	幹事長	副支部長	役職	氏名	卒業年次	所属		
阿部憲司	小保信	碇幸博	三島俊嗣	伊藤嗣	小山内	寺岡正宏	斎藤廣治	池上信康	板東利春	藤谷孝夫	川島正	山尾正	内木竜	佐藤美加	佐々木理之	濱谷操	榎本博之	真崎不彦	永井貴之	
51年卒	50年卒	49年卒	47年卒	44年卒	42年卒	42年卒	39年卒	37年卒	33年卒	32年卒	31年卒	23年卒	63年卒	59年卒	58年卒	28年卒	63年卒	54年卒	53年卒	
合計	八、特別業務 受賞会員への祝儀・祝電 逝去会員へのご香典・弔電 昇任会員への祝電	七、会費(本部会費・支部会費)の集約 その他の会員への協力(総会・懇親会)	六、新入・転入会員激励会 役員会・学校幹事会 本部事業への協力(総会・懇親会)	五、受賞祝賀会 四、支部会報の発行 三、受賞祝賀会	二、受賞祝賀会 一、支部総会	中学校長会長	小学校長会長	前支部長	元支部長	元支部長	元支部長	元支部長	元支部長	元支部長						

二、主な業務内容

- 八、特別業務
受賞会員への祝儀・祝電
逝去会員へのご香典・弔電
昇任会員への祝電
- 七、会費(本部会費・支部会費)の集約
その他の会員への協力(総会・懇親会)
- 六、新入・転入会員激励会
役員会・学校幹事会
本部事業への協力(総会・懇親会)
- 五、受賞祝賀会
四、支部会報の発行
三、受賞祝賀会
- 二、受賞祝賀会
一、支部総会

平成23年度 一般会計決算書

1. 収入の部

項目	23年度予算額	23年度決算額	増減(△)	摘要
会員現職会員	785,000	780,000	5,000	780名×1,000円
費会費	30,000	32,000	△ 2,000	年次会員
縁越金	125,524	125,524	0	
縁入金	120,000	120,000	0	前納会計から
雑収入	276	101	175	利子
合計	1,060,800	1,057,625	3,175	

2. 支出の部

項目	23年度予算額	23年度決算額	増減(△)	摘要
事務費	150,000	76,306	73,694	コピー代、用紙、封筒
事業費	450,000	426,520	23,480	会報、広告代
会議費	210,000	250,324	△ 40,324	幹事・新会員懇親会等
慶弔費	180,000	150,300	29,700	祝電、結婚祝い金、弔電、香典
振込手数料	50,000	53,940	△ 3,940	各種会費等振込手数料
雜費	5,800	0	5,800	
予備費	15,000	0	15,000	
合計	1,060,800	957,390	103,410	

(収支決算)	取入	支出	残高
	1,057,625	957,390	100,235

平成24年度 一般会計予算書案

1. 収入の部

項目	23年度予算額	24年度予算額	増減(△)	摘要
会員現職会員	785,000	785,000	0	785名×1,000円
費会費	30,000	30,000	0	年次会員
縁越金	125,524	100,235	△ 25,289	
縁入金	120,000	120,000	0	前納会計から
雑収入	276	265	△ 11	利子
合計	1,060,800	1,035,500	△ 25,300	

項目	23年度予算額	24年度予算額	増減(△)	摘要
事務費	150,000	110,000	△ 40,000	コピー代、用紙、封筒
事業費	450,000	440,000	△ 10,000	会報、広告代
会議費	210,000	230,000	20,000	幹事・新会員懇親会等
慶弔費	180,000	180,000	0	祝電、結婚祝い金、弔電、香典
振込手数料	50,000	55,000	5,000	各種会費等振込手数料
雜費	5,800	5,500	△ 300	
予備費	15,000	15,000	0	
合計	1,060,800	1,035,500	△ 25,300	

平成23年度 前納会計決算書

〈収支状況〉

前年度残高	2,746,398
H23年度納入額	80,000
利子収入	645
一般会計へ	120,000
合計	2,707,043

〈残高明細〉

種類
普通預金1 2,242,078
普通預金2 464,965
合計 2,707,043

平成24年度 前納会計予算書案

〈収支状況〉

前年度残高	2,707,043
H24年度納入額	100,000
一般会計へ	120,000
合計	2,687,043



学校名	転入会員
附属尾日北亀光港大白榎日神鍛北中石東北柏千代高青	
附属札新田成船尻法新山神美原央崎吉が丘野柳盛	
中小中中中中小小小小小小小小小小	
長山木秋天祖父西森本木齊中高三松片遠明伊笠佐阿山伊檉三高 谷川崎嶺野江村間村藤村橋浦井寄山戸藤井木部本藤野浦田	
美榮子ル雅邦俊五泰廣雅淳友厚博美剛泰礼雅寿千良恵範将智 栄子イ彰樹洋介三司樹彦一美一務美貴史子子秋也尋子里人大史	
H S H S H H S H H S S S S S S H H H H S S H S H S H S H S 4 58 15 59 15 10 63 4 15 59 60 56 54 58 52 15 7 12 4 53 57 21 57 19 60 5 62 院	卒年

学校名	千代ヶ岱小									
教育大学函館校	東中中央神原小									
野中啓介	五十嵐真由美									
高橋尚文	齊藤庸希									
鎌田亮介	澤井平希									
打越吾	齊藤庸希									
酒井文	澤井平希									
澤藤庸	齊藤庸希									
新採用会員	五十嵐真由美									
卒年	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H
24	17	20	22	22	21	22	21	22	17	

旭戸湯深的光港大五凌宇賀潮西大白磨榎え日戸南本東神鍛北中赤亀昭北桔石東旭
尾岡倉川堀場成川稜雲見船尻光法さん新井本通山山神原美央川田和昭和の梗崎岡
中小中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中中
増近瀧長佐菊山濱辻黒片西高太佐久水小丹近須岡小中熊須酒竹菅宮入吉車古守松田
川藤澤村木地縣地川桐木橋田木杉島竹治江藤本向山谷藤井内原下江田谷浦村
貴基佑幸壯文達尚博美賢隆由賢和辰政尚理良英健昭恵朋恭麻賢佳未
博子太浩一功毅惠淳朗哉紀子紀行佳久子恵仁子志美子代吾文夫美子子子惠一子学

7 5 11 14 12 13 5 7 5 8 10 6 12 6 5 5 7 3 5 4 4 11 12 17 16 18 20 15 10 13 21 14 16 21 3 6 13

分 掌	氏 名	總務部	庶務部	広報部	会計部
○佐々木理之・内木 竜	○瀧澤 佑太・中山 央	○杉山 利之・祖母浦美代子	室本紀恵子・土原 恵美	昭平	○佐々木理之・本吉 有麻

●支部事務局体制（戸倉中学校）

函館市教委員	赤川小中	桔川小中	龟澤川小中	桐田中	北花中	潮通中	惠光中	日山中	白札部	はこだて幼	附属函館大	附属函館中	附属函館小	附属函館幼	教員大				
小笠原	松浦	長谷川	伊藤間	本澤	戸島	輪澤	相藤	佐澤	長藤	佐澤	三澤	山室	磯家	星波	村野	木村			
俊学	美彦	美榮	裕光	裕枝	陽子	悦子	光毅	雅博	一幸	良幸	智廣	佑太	理惠	敬惠	秀一	幸子			
紀彦	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子	子			
8	11	13	12	4	1	6	5	7	5	9	7	14	22	7	21	11	14	9	9

